



全国 B.M.C. 会長 長野 広起 氏 (ながの ひろき)

新年あけましておめでとうございます。謹んで新春の寿ぎをお慶び申し上げます。

旧年中は未曾有の厳しい状況の中、変わらぬお引き立てを賜り、心より御礼申し上げます。本年は、新型コロナウイルスに打ち勝ち、皆様と一致団結してバンケットを立て直していく所存ですので、より一層のお力添えの程何卒宜しく願い申し上げます。

さて、昨年2020年は、本来であれば東京オリンピック・パラリンピックが夏に開催され、東京を中心に年間4,000万人近くを訪日外国人のお客様を迎え、日本中が賑わうはずでしたが、突然、雲散霧消してしまいました。これまでに経験したことがないこの災禍は、お客様をホテルから遠ざけ、宴会を開催することを避けられてしまう事態に陥ってしまいB.M.C.の活動も自粛に追い込まれてしまいました。

しかしながら、活動自粛の中、九州B.M.C.や沖縄B.M.C.のメンバーが、恐れる事なく医療関係者の方々に食材の差し入れを行い喜んでいただけたことは、我々会員にとって非常に心打たれる出来事であったと同時に感動と勇気を頂くこととなりました。

最近では、with コロナ時代を見据え、様々な試行錯誤の上、徹底した感染予防対策を講じ、「バンケットの新しい様式」をスタッフはもとよりお客様に理解していただきながら大規模なお別れの会を開催したホテルもあるなど、少しずつ宴会需要が戻ってきていることも確かでございます。

また、オンライン会議、各地域同時開催でのイベントなど、新しい形式での宴会が開催されるようになり、パラダイムシフトをしなければいけない時期が到来していると痛感しております。それはまさに、就任時から申し上げております「強い現場力」の見せ場ではないでしょうか。このピンチを逆にチャンスと捉え、我々が今まで培ってきたバンケットの豊富な知識と経験により、しっかりと感染防止策を取り、安心・安全な宴会を目指して参ります。

「人は直接触れ合い、語り合うことがビジネスを成功に、幸せを導く」ということが改めて求められつつある中で、その実現をサポートしていくことが私たちB.M.C.に課せられた使命であるとの思いを新たにしているところです。

今夏に開催される東京オリンピック・パラリンピックに向けて、HRSやBIAなど関係団体と連携を取り合いながら皆様とともに結束・協働して参る所存でございます。

末筆となりましたが、皆様方の本年のご活躍とご隆盛を切にお祈り申し上げます。



東京 B.M.C. 会長 鈴木 一郎 氏 (すずき いちろう)

新年明けましておめでとうございます。

3年目の大役を務めております、東京B.M.C.会長の鈴木でございます。

年頭にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

ご承知の通りここ1年余りの間、新型コロナウイルス感染拡大の影響により業界にとって未曾有の事態となり、現在も予断を許さない状況となっております。また、国内だけにとどまらず世界各国で感染者が急増していることは、今後の経済等にも大きな影響を及ぼし最悪の状況を招くのではないかと、この危機感が増しております。このような状況下、会員の皆様へ何かできることを委員会でも検討し、初の全国B.M.C.との共催で感染防止商品を取り扱う会員様にご協力をいただき、『With コロナ展示会』の開催を挙行了したことは、多少なりとも会員の皆様へ恩返しできたと感じております。一企業の努力だけではカバーしきれない危機の中、あらゆる業種の企業が非常に厳しい状況に直面しています。先ずは東京B.M.C.として“お客様に喜んで頂く”という基本に立ち返り、地道に、ひとつずつ、目の前のことから取り組んで参りたいと存じます。

今年は攻めに転じ、一日も早く明るい話題を共有できるよう、関係団体の皆様とタッグを組んで一丸となって難局を乗り越えていく所存でございます。みんなで心をつなげてこの難局に立ち向かっていきましょう。

この新しい年がより佳き年になるよう心より祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。今年も宜しく願いいたします！一諸に頑張りましょう！